

大会宣言

本日、JR東日本輸送サービス労働組合は、赤羽会館において第6回定期大会を開催した。そして、輸送サービス労組運動への「共感」から“すべての仲間”の真実の声に基づく「共創」によって、輸送サービス労組の強化と拡大を実現させることを確認した。

日本の鉄道が開業から150年を迎えた今、鉄道の安全は非常事態だ。私たちは、これまでも人の命が奪われかねない事故・事象の頻発するJR東日本の現状に、警鐘を鳴らし続けてきた。しかし、現在、絶対に“起こしてはならない事故”が立て続けに発生している。川越線でのデッドロックや東海道線での異線進入、北陸新幹線では作業時間帯区間に列車が進入。そして、内房線では感電死亡事故が発生し、作業中の協力会社社員の尊い命が犠牲になってしまった。これは、人命や人財を軽視し、金儲けに直走る企業体質が安全を二の次にしているからだ。更に、作業の効率化が進み、システムに依存してしまった結果、現場力が低下していることも大きな課題である。今、私たち一人ひとりが、命の尊さと真剣に向き合い、これまで以上に“命を守る”ことに執着し、現場力を高め、すべての仲間と共に健全な倫理観を持つ企業風土と職場における安全文化をつくり上げよう。

コロナ禍に直面した3年間、私たちは変わらないエッセンシャルワーカーとしての使命と責務を果たしながら、赤字脱却を目指し、減らされた要員に反し、増大する業務量の中、これまで以上の労苦を味わいながら、日夜、奮闘し続けてきた。そして、迎えたJR東日本の2022年度決算は、全セグメントが増収増益となる3期ぶりの黒字化を達成した。しかし、JR東日本会社は、社員に対して正当な評価と真っ当な還元をしない姿勢を露わにした。2023春の取り組みは、物価高に負けないベースアップを目指し《全社員一律3,000円+基本給の定率4%》のベースアップを求めたが、会社は「生計費はベアの一つの考慮要素」としつつ《所定昇給額の4分の1+4,000円》と回答した。そして、今夏は《3.2ヶ月分+10万円》の夏季手当を求め、申35号団体交渉を全組合員でつくり出してきたが、会社は私たちの要求には遠く及ばない《2.5ヶ月分+5万円》と回答した。未曾有の物価上昇が襲い掛かり、組合員・家族からは「このままでは生活ができない」という悲痛な声が多く出され、更にあらゆる施策を担い、黒字化を生み出した組合員・社員といった“人への投資”よりも設備投資ばかりを行う経営に対し「現場の苦労を見ろ」「組合員・社員の生活には賃金が直結している」「社員への還元をせず投資ばかりするな」と不満や怒り、失望や落胆の声が叫ばれている。更に会社は、昨年の夏季手当交渉時における3点の労使の確認事項を「一字一句確認したものではない」とし、事実を覆すご都合主義の回答を繰り返した。私たちは、この団体交渉へ誠実に応じない姿勢を断じて看過・容認しない。職場からの声を基にした新たな3点を労使で確認し、誠実交渉義務違反を糾すための通知書を手交した。私たちは、職場からの輸送サービス労組運動を更に強化し、組織の拡大をしていく決意だ。そして、未だに回答されない夏季手当不足分の《0.7ヶ月分+5万円》を求める申38号の要求を実現させよう。

6月7日、東京都労働委員会へ不当労働行為救済申立てを行っていた「JR東日本八王子駅パンフ配布処分事件」は、全部救済の“完全勝利命令”が交付された。都労委は、組合員2名の行なったパンフ配布は、組合勧誘という労働組合の重要な活動であり正当性を有するものとした。その上で、会社に対し、組合活動に対する支配介入であり、処分は不当とし処分の撤回を命令し、会社が行なってきた不当労働行為を断罪した。私たちは、JR東日本会社に対し、都労委からの命令を直ちに履行することを強く求める。そして、8月10日の「脱退パワハラ訴訟」では勝利判決を必ず勝ち取る！そして、強制配置転換をし続ける「新たなジョブローテーション」施策による「人の尊厳」を否定する経営を糾すためにも、東京・八王子・水戸地本の行なった不当労働行為救済申立ても“勝利命令”を実現させようではないか！

「あったことをなかったことにはできない」とする結成の意義と原点を忘れず、2023年を勝利元年として、JR東日本・グループ会社に未だ蔓延るすべての不当労働行為を根絶し、誰もが安全に安心して働ける健全な職場を実現させよう！

関東大震災から100年を迎え、鉄道ネットワークが災害時に有益だったにも関わらず、そのネットワークが奪われようとしている。「36路線72区間」の問題は、地方ローカル線実態調査行動を通じ、多くの鉄道利用者の皆さんからJR東日本へ求める声を掴み、地域や社会から必要とされるJR東日本をつくり出さなければならないことを実感した。私たちは、今ある現実と問題を直視し、労働条件の向上と労働環境の改善、安全な鉄道、差別の無い健全な職場の構築に向けて、職場のコミュニティの輪を拡大し、議論を深めていこう。更に、JTSU議員懇談会の議員、地域・利用者との連帯を更に強化し、すべての仲間が主役となって「輸送サービス労組未来ビジョン」を実現しよう。そして、「働きがい」と「生きがい」「こころの豊かさ」を実現できるJR東日本を創造するために、輸送サービス労組運動の共創を大きくつくり上げ、組織の強化・拡大を実現するために奮闘するものである！

以上、宣言する。

2023年7月2日
JR東日本輸送サービス労働組合
第6回定期大会